

**2023年10月度 J.フロント リテイリング 百貨店事業 売上速報**

※当社は2017年度から国際会計基準（I F R S）を任意適用しています。なお百貨店事業の店舗別売上高につきましては、I F R S
売上収益のうち消化仕入取引を総額に置き換えた総額売上高で開示します。
※数値は速報値のため、毎月中旬に発表している確定報とは誤差が生じることがあります。
※百貨店事業以外の事業も含めた連結ベースによる売上収益報告につきましては、I F R Sの確定値により毎月中旬に開示します。

■ 店舗別売上高対前年増減率（％）

店舗	10月度	下期累計	店舗	10月度	下期累計
大丸 心斎橋店	43.8	48.8	松坂屋 名古屋店	8.8	9.0
大丸 梅田店	7.8	11.6	松坂屋 上野店	5.0	7.4
大丸 東京店	17.3	21.5	松坂屋 静岡店	▲4.6	▲0.1
大丸 京都店	18.8	18.5	松坂屋 高槻店	▲1.6	▲0.0
大丸 神戸店	9.3	10.9	店 計	14.9	16.8
大丸 須磨店	▲0.4	0.4	法人・本社等	▲1.2	▲6.9
大丸 芦屋店	1.5	0.2	大丸松坂屋百貨店合計	14.3	15.8
大丸 札幌店	18.5	16.2	博多大丸	6.8	14.1
大丸 下関店	▲13.3	▲7.5	高知大丸	▲0.2	▲0.4
			百貨店事業合計	13.6	15.5

■ 概 況

- ・ 10月度の売上高は、休日が対前年▲1日であったことや、気温が平年より高く推移したことによる秋冬物衣料品へのマイナス影響があったものの、ラグジュアリーブランド、化粧品、宝飾品が引き続き好調を持続し、訪日外国人売上も大きく伸長したことなどから、大丸松坂屋百貨店合計では対前年14.3%増、関係百貨店を含めた百貨店事業合計では同13.6%増となった。
- ・ 店舗別では、15店舗中10店舗が前年実績を上回った。訪日外国人売上が好調の心斎橋店は、化粧品、ラグジュアリーブランドが大きく売上を伸ばし、対前年約4割増となった。
- ・ 大丸松坂屋百貨店合計の免税売上高（速報値）は、対前年237.8%増（客数同577.2%増、客単価▲50.1%減）であった。

【参考】 10月度の大丸松坂屋百貨店の店計売上（法人・本社等の本年・過去実績を除く既存店）は対前年14.9%増、対19年度34.0%増、対18年度7.2%増。
うち国内売上高（免税売上高の本年・過去実績を除く既存店）は対前年5.9%増、対19年度33.3%増、対18年度5.7%増。
大丸松坂屋百貨店合計（既存店）の免税売上高は対19年度40.3%増、対18年度19.4%増。

お問い合わせ先

J.フロント リテイリング株式会社
I R推進担当
グループ広報担当コーポレートコミュニケーション室
03-6865-7621
03-6865-7616